

提出日平成17年7月22日

調査航海概要報告書

1. 航海番号/レグ名/使用船舶 : NT05-10「なつしま」
 2. 研究課題名 : 富山湾におけるオオグチボヤ (*Megalodicopia hians*) コロニーの地球生命科学的調査
- 提案者/所属機関/課題受付番号 : 長沼 毅 / 広島大学大学院 生物圏科学研究科 / S05-05
3. 首席研究者/所属機関 : 長沼 毅 / 広島大学大学院 生物圏科学研究科
 4. 乗船研究者 : 長沼 毅、岡村行信、松浦旅人、竹内 章、張 勁、三輪哲也、三宅裕志、崎山直夫、荒川 康、林 徹、前川拓也、佐藤瑠美、荒井千恵
 5. 調査海域 : 富山湾
 6. 実施期間 : 平成17年7月6日(水) ~ 平成17年7月15日(金)

調査航海概要

本航海(NT05-10)では富山湾に生息が確認されている深海性ホヤの一種であるオオグチボヤ (*Megalodicopia hians*) [写真] の分布と生息状況を、富山湾の海底地形や地質・地球化学的特徴との関連において調査することを目的とした。同時に、状態の良いオオグチボヤを採集した場合は、今後の飼育実験に供することも期した。その結果、以下のことが明らかになった：

オオグチボヤは海底斜面などで露出ないし半露出した岩盤に付着して群生する。

オオグチボヤはゴミや沈木などに付着して群生する。この場合、海底は平坦な泥質であっても構わない。

ゴミなどに付着したオオグチボヤは比較的良い状態で採集され、今後の飼育実験等に有望な個体試料となると思われる。

オオグチボヤは水温約2℃あるいは水深約300mを生息上限として分布するようである。

